

食品ロス 児童が削減

★★★

年 組 () 名前

サイン

◆ 国連が採択したSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け、各地で様々な取り組みが始まっています。
(2020年2月9日 大阪読売新聞朝刊より)



規格外の野菜や果物

食品ロス 児童が削減

目標12「つくる責任 つかう責任」の中には「世界全体の1人当たりの食料廃棄を半減させる」とのターゲットがある。SDGsの実践として地域と連携し、食品ロス削減に取り組む学校が徳島県にある。上板町立高志小は、通学路のあちこちにニンジン畑が広がる。児童や教諭らは、小さかったり一部欠けたりして流通に適さない規格外のニンジンが残されている

のを見てきた。「まだ食べられるものを大切にすることを考えよう」。そんな思いから授業の一環で2017年度に活動を始めた。JAや町内の生産者の協力を得て、出荷されることのないニンジンやブロッコリー、桃を児童らが収穫。県内の食品加工会社でみじん切りやペーストなどに加工して、町の給食センターへ。

収穫したニンジンが町内の幼稚園や小中全約1000人の給食になった。さらにセンターで出た野菜の皮や芯を地域内の養豚場でえさに使ってもらったことを児童が提案、実現できた。「子どもたちは食事を残すこともなくなった」と武田国宏校長。輸送によるCO₂排出を削減できる地産地消は、目標13「気候変動対策を」にもつながる。(徳島支局 新谷諒真)



食品ロスの削減 地産地消を推進

4 8 12 13 17
数字と色は貢献できる目標

養豚飼料



4 質の高い教育をみんなに

13 気候変動に具体的な対策を

8 働きがいも経済成長も

17 パートナーシップで目標を達成しよう

12 つくる責任 つかう責任

【1】高志小は、食べられるものを大切にするために、どんなことを考えたでしょうか？

【2】高志小は、どんな人たちと連携しましたか？

【3】食べ物の無駄を少なくするために、どんなことが出来るでしょうか？



高校産食材も「出場」へ



五輪で使われる食材は、各都道府県から送られてきたリストを基に大会組織委員会側

と、基準となっている国際認証グローバルGAP(ギャップ)を取得する農業高校が全国で増えている。農林水産省によると、2年前の4倍以上の22校に急増。手塩にかけた果物やコメが選手村の食材に選ばれば、地元食材や高校の活動を国内外にアピールする絶好の機会となり、生徒たちの期待も膨らんでいる。

が選択。選手村での食事のほか、大会会場の売店などで提供される。

農水省によると、昨年12月末時点で取得報告があった高校は、青森や茨城、京都、福岡など14道府県の22校。2018年3月末の5校、19年3月末の20校から増加を続けている。

青森県平川市にある県立柏木農業高校は1月末、「ふじ」や「王林」、「ジョナゴールド」といった県特産のリンゴでGAPを取得した。同校「りんご研究部」の2、3年生計11人が、地元根付いたリンゴ栽培の理解を深めてもらおうと、昨春から取得の準備を



◆自分たちの作った食材を五輪選手に提供しようと、基準になっている国際認証を取得する農業高校が増えています。

(2020年2月20日
読売新聞夕刊より)

グローバルGAP 食品安全や環境配慮などの基準を満たした生産者に与えられる欧州発祥の国際認証。GAPはGood Agricultural Practice(よい農業の実践)の略。

グローバルGAPの認証を受けたリンゴを前に笑顔を見せる県立柏木農業高校の生徒たち(青森県平川市)

グローバルGAPを取得した主な高校と食材

青森県立五所川原農林高校	リンゴ、メロン、ジャガイモなど
茨城県立 真壁高校	シャインマスカット
栃木県立 真岡北陵高校	コメ
京都府立木津高校	荒茶
愛媛県立 南宇和高校	河内晩柑、甘夏
福岡県立 福岡農業高校	トマト

※農林水産省の資料をもとに作成

進めてきた。「農薬を適切温度で保管しているか」「害虫数をチェックして駆除する手順はあるか」。生産工程や道具の管理など200以上の厳正な審査項目をクリアするため、週2回の部活で試行錯誤を繰り返した。リコール対応も審査されるため、回収方法などをまとめた資料も作成。審査直前には質疑応答の練習も毎日行った。

【1】基準となっている国際認証は何と言いますか。名前と、意味を書きましょう。

【2】選手村の食材に選ばれることで、どんな効果がありますか。書きましょう。

【発展問題】あなたの住んでいる地域の、どんな食材を五輪の選手たちに食べてもらいたいですか。裏に書きましょう。



年 組 () 名前

サイン

増える外国籍 日本語が壁に

未就園の子どもたち



「早いうちに保育園に入れておけばよかった……」。関東地方で小学6年生の長男(11)を育てる日系ブラジル人の母親(47)は悔やむ。

19歳で来日し、働くうちに知り合った日系ブラジル人の夫と結婚して長男を出産した。家庭での会話はポルトガル語。日本語を覚えさせるため保育園に入

れようとしたが空きがなく、ほとんど通わせられなかった。小学校入学時に日本語は少ししか

分からず、現在も授業についていけないという。母親も漢字が多い教科書を読めないため、「これから勉強が難しくなるので心配」と表情を曇らせる。

■ NPOがフォロー

こうした未就園児の学びを支援する取り組みもある。

岐阜県可児市のNPO法人可児市国際交流協会が運営するプレスクール「ひよこ教室」。保育園や幼稚園に通わずに4月に

小学校に入学する外国籍の子どもにも、入学前の半年間、日本語や集団行動を教えている。

工業団地がある可児市は外国人労働者が多く、同市によると、今年3月時点で小学生約5560人の1割近くが外国籍だ。同

法人事務局長の各務真弓さんによると、来日時に保育園に空きがなかったり、個人的に託児を受け入れている同国人に預けられたりして未就園になるケースが多い。各務さんは「日本語を覚えられないと勉強ができず、友だちも作れなくなると小学校に溶け込めない」と、入学前からの支援が必要と訴える。

東京都福生市で、日本語が不自由な外国籍の子どもを支援しているのは、NPO法人青少年自立援助センターの「YSCグローバル・スクール」。週3回、放課後に日本語を教えたり一緒に宿題を解いたりする授業には、フィリピンや中国などが母国の小学生約15人が通う。

■ 学校生活にハンデ

外国籍の子どもは日本全体で増加している。法務省によると、昨年6月現在、0〜5歳は約11万人で、5年間で3割増えた。

人手不足を背景に、来日して働く外国人が増えているためだ。同法人のコーディネーター、山田拓路さん(34)は、「外国籍の親は、日本の保育園の制度や提出する書類がわからないこと

が多い。日本語ができない子どもを保育園などに入れるのをためらうこともある」と話す。

外国籍の子どもへの支援に携わる東洋大学教授の南野奈津子さんは「日本の保育制度は昼に働く人を前提に作られており、昼夜交代制の工場や夜の飲食業で働くことも多い外国人には利用しづらい」と指摘。さらに、言葉の習得には幼児期が重要で、日本語ができないと勉強や学校生活で大きなハンデを背負うとしたうえで、「子どもを育てながら働きやすい環境を整備し、日本語教育が必要な子ども全員が、保育園や幼稚園に入園できるようにすることが望ましい」と話している。

◆日本で働く外国人が増える中、彼らの子どもが保育園や幼稚園に通わない「未就園」となるケースが増えています。(2020年4月2日 読売新聞朝刊より)

【1】記事の1段落目に出てくる日系ブラジル人の母親は、長男を「早いうちに保育園に入れておけばよかった」と悔やんでいます。なぜでしょうか。

Blank box for answer to question 1.

【2】外国籍の子どもが「未就園」になるケースが多いのはなぜでしょうか。理由を2つ以上挙げましょう。

Blank box for answer to question 2.

【3】あなたの周りに日本語がほとんど分からない外国籍の子どもがいたら、あなたはどうしますか。裏面に書きましょう。

